

平成 14 年 5 月 30 日
日本空港ビルディング株式会社

羽田空港旅客ターミナルビルにおけるサッカー・ワールドカップに向けての対応

日本空港ビルディング株式会社では、サッカー・ワールドカップ開催期間中、お客様に安全で円滑に羽田空港をご利用いただくため、本年 3 月に社内に「FIFA ワールドカップ対策本部」を設置し諸準備を進めてまいりました。つきましては関係諸機関と連携をとり、下記のとおり対策を実施いたします。

【当社の対応】

1.「フーリガン等警備対策総本部」の設置

5 月 24 日(金)から 7 月 1 日(月)の間、フーリガン等の不測の事態の発生に対応するため「フーリガン等警備対策総本部」を設置し、社員一丸となってターミナルビルの警備強化を図ります。

2.国際線旅客ターミナルビルの増改築

国際線旅客チャーター便の増便やサッカー・ワールドカップの開催に伴う羽田空港の利用に対応するため、国際線旅客ターミナルビルの増改築を行ってまいりましたが、5 月 25 日(土)に供用を開始し、1 時間当たり出発・到着それぞれ 750 人程度の旅客が利用できるようになりました。

3.保安要員の増員および巡回警備の強化

昨年の米国同時多発テロ事件以降、当社では保安要員の増員を図る等、保安体制の強化に努めてまいりましたが、大会期間中、更にロビー内の巡回要員を増員し、警備強化を図ります。

4.館内案内表示に韓国語・中国語表示を追加

地階から 2 階の案内サインボードに現行の日本語・英語表示に加え、韓国語・中国語の表示を行いました。

5.館内案内マップの韓国語・中国語・スペイン語版を新規に発行

現行の日本語・英語版に加え、韓国語・中国語・スペイン語版を新規に発行しました。

6.ツアーデスク(案内所)での韓国語対応

ワールドカップ期間中、韓国語ができるアルバイトを 2 名採用し、ツアーデスクで案内業務を行います。

7.展望デッキのフェンスを改良

展望デッキから物を駐機場(エプロン)内に投てきできないようにフェンスを改良しました。

【関係諸機関への協力】

日本空港ビルデング株式会社では、下記の関係諸機関の活動に対し、スペースの提供等の協力を行うことで、空港利用者へのサービス向上を図っています。

1.JAWOC が臨時案内所を設置

JAWOC が大会関係者や観客への案内業務を行う臨時案内所を5月24日(金)～6月30日(日)の間、1階到着ロビー南北2ヵ所に設置しています。

2.JAWOC がチケット発券機を設置

サッカー・ワールドカップのチケット予約者用に1階到着ロビーにチケット発券機を設置しています。

3.東京都が臨時観光情報センターを設置

東京都が外国人旅行者への観光案内を目的とした臨時観光情報センターを5月24日(金)～7月2日(火)の間、1階到着ロビーに設置しています。

4.国土交通省が取り組んでいる IC カードプロジェクト

国土交通省が取り組んでいる電子マネー機能を搭載した IC カードが3店舗(トラベルアイル、エアポートマートノース、エアポートマートサウス)で利用できます。

5.東京消防庁が蒲田消防署空港分署ターミナル分駐所を開所

羽田空港では、よりの確な救急要請に対応するため空港内の救急車配備について調整を進めていましたが、ワールドカップ開催前の5月27日(月)に、東京消防庁が西旅客ターミナルビル北側にターミナル分駐所を設置し、空港内に救急車を常駐させ、救急患者の迅速な搬送を図っています。

以上